

# シラバス

授 業 科 目	有機薬化学特論		
(英 文 名)	Advanced Organic Pharmaceutical Chemistry		
担 当 教 員	藤岡晴人、石津 隆		
単 位 数 (期別)	1 (前)	対 象 学 生	1・2MP

## ■授業のねらい・概要■

近年、酵素モデルとして発展を遂げた包摂化合物を中心として、化学の観点から”生命現象”を理解させることを目的とする。

また、ドラッグデザインの科学的な考え方を理解するために、標的生体分子との相互作用および基盤となるサイエンスと技術に関する基本的知識と技能を修得する。

## ■授業(学習)の到達目標■

- 1 生命現象を化学でとらえる。
- 2 生体関連物質の受容体モデルについて理解する。
- 3 酵素モデルについて理解する。
- 4 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。
- 5 医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明できる。
- 6 代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。
- 7 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。
- 8 薬物動態を考慮したドラッグデザインについて概説できる。

## ■回数ごとの授業内容■

- 1 受容体モデルや酵素モデルにより生命現象を化学でとらえる。(藤岡)
- 2 医薬品と標的生体分子の相互作用(石津)
- 3 医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性について(藤岡・石津)
- 4 薬物動態を考慮したドラッグデザインについて(藤岡・石津)
- 5 代表的なスクリーニング法(藤岡・石津)
- 6 定量的構造活性相関のパラメーターについて(藤岡・石津)

## ■学 習 方 法■

講義用資料を配布し講義により行う。

## ■成績評価の方法・基準■

出席数並びにレポートによる。

## ■使用テキスト■

講義用資料を配布

## ■参 考 書■

化学新シリーズ「生物有機化学」-新たなバイオを切り拓く- 小宮山 真著 裳華房  
ISBN4-7853-3212-3 C 3043